

排泄動作アセスメント作りから 求められる医療/福祉トイレを考える

坂本 菜子 (坂本菜子コンフォート研究所)

中間 浩一 (医療法人社団慶成会 青梅慶友病院)

約半年間の準備期間を経て、本年 4 月に正式発足した本研究会では、「排泄」行為の果たすリハビリテーション医療プロセス上の重要性に着目してきた。そこで医療/福祉トイレ環境をめぐる数多くの関係者を集約し、多角的に状況把握を行ない、目下、その課題整理を行なっている。

本講演では、その中間報告として、ともすると「作り手」サイドは、「使い手」を単なる車イス利用者や要介助者として一元的に認識しがちであるという反省に立ち、排泄動作アセスメントを症例別に洗い直すことで、その課題を抽出してスポットを当てたい。

(医療/福祉トイレ環境研究会)

